



あまくさ

市議会だより

第34号

2020年11月号



▲紅白対抗リレー（倉岳中学校）



▲表現運動 笑顔でフィナーレ（河浦小学校）



▲雑鷗祭(体育の部)での書道パフォーマンス（天草高校）

コロナ禍での 体育大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から5月まで休校となった市内の小・中学校および高校。中止となった学校行事も多い中、多くの学校で延期していた体育大会が、9月から10月にかけて開催されました。規模縮小の中、工夫をこらした内容で、児童・生徒の生き生きとした表情が印象的でした。

主な内容

- 令和2年第6回定例会補正予算などの主な内容 …… P 2～4
- 令和元年度一般会計歳入歳出決算などを認定 …… P 6～8
- 令和2年第5回臨時会 …… P 9
- 一般質問 …… P 11～15

こんなことを
話し合い
決めました

令和2年第6回定例会は、9月1日(火)から9月28日(月)の28日間の会期で行いました。条例の改正や補正予算、決算などの議案等が提出され、審査・審議の結果、すべて原案どおり可決、認定しました。今号では、この中から3件を詳しく紹介します。

今回の議案等は25件

※議案等一覧は5ページに掲載。

- 報告 …………… 1件
- 条例 …………… 1件
- その他 …………… 5件
- 予算 …………… 3件
- 決算 …………… 13件
- 請願 …………… 2件



TOPIC
01

令和2年度一般会計補正予算(第9号)
情報通信基盤整備費や新型コロナウイルス関連予算を
増額

情報通信基盤整備補助金や新型コロナウイルス感染症に関する支援、
拡大防止対策に対する補助金を含む一般会計補正予算を可決

11億5,806万8千円を増額し、総額647億2,450万円とする令和2年度天草市一般会計補正予算(第9号)は、9月9日に予算決算委員会にて審査を行いました。

今回の補正では、超高速ブロードバンド未整備地域における基盤整備などの費用が計上されました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援を目的とした補助金や、母子の保健指導をオンラインで実施するための整備費など感染拡大防止の対策費用も計上され、原案どおり可決しました。
主な補正予算の内容や質疑については、次のページで紹介いたします。



超高速ブロードバンド未整備地域に
光ファイバ回線を整備
4億5,891万7千円を増額

内容

市内のインターネット環境の格差を是正し、地域情報化の推進を図るため、光ファイバの整備を令和元年度から4年度にかけて計画していたが、国の第二次補正予算の成立に伴い、時期を前倒ししての実施が推進され、補助の内示が見込まれるため、補正する。

質疑

問 超高速ブロードバンド未整備地域の解消を行うことで、インターネット・テレビが利用できる環境が整うが、加入率はどれくらいを見込んでいるのか。
答 整備地域世帯の40%以上の契約を見込んでいます。

問 この整備により、テレビ共聴組合の方の選択肢が一つ増えるが、今後はどのような推進を図るのか。
答 今回の整備対象地域の中で、テレビ共聴の改修が予定されている区域については、市が説明会を開催し、情報の提供を行っていく。



乳幼児の健康相談や保健指導に
オンラインを導入
1,430万9千円を増額

内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、母子に対する集団での乳幼児健診を個別診察に変更し、健康相談や保健指導をオンラインにより実施するため、補正する。

質疑

問 オンラインでの健康相談などに安価な通信アプリ等を使用しない理由は。
答 個別相談については、個人情報保護の観点から一般のインターネット回線ではなく、各支所と各保健センターをつなぐ専用ネットワークを構築し、最寄りの支所や保健センターからサービスが受けられるよう整備する。

問 今後の活用方法について。
答 母子保健のみではなく、保健センターで実施する健康相談全般に有効活用できるように進めていきたい。



天草の魚販売促進応援キャンペーン
の実施費用を補助
650万円を新設

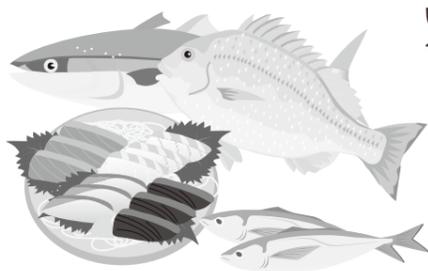
内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、魚価の低下など、収入が減少する水産業対策として、市内の漁業協同組合などが実施する水産物の販売促進、消費喚起につながる取り組みを支援するため、補正する。

質疑

問 キャンペーンの内容は。
答 鮮魚店や飲食店の商品などについているシールを集めて応募すると、総勢888名に天草の水産物をプレゼントする。

問 キャンペーンの期間は。
答 令和2年11月から同3年1月末までを予定している。



▲キャンペーン応募シール

令和2年第6回天草市議会(定例会)議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第12号	令和元年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について(地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、議会に報告するもの)	—	—
議第83号	天草市体育館条例の一部を改正する条例の制定について(城河原体育館の新設に伴い、条例を改正するもの)	総務政策	原案可決
議第84号	工事請負契約の締結について(御所浦診療所建築工事に係る請負契約の締結について、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第85号 ~86号	令和2年度天草市一般会計補正予算(第9号) 令和2年度天草市介護保険特別会計補正予算(第1号)	予算決算	原案可決
議第87号 ~99号	令和元年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について 令和元年度天草市特別会計歳入歳出決算の認定について(国民健康保険特別会計など9件) 令和元年度天草市病院事業会計決算の認定について 令和元年度天草市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 令和元年度天草市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	予算決算	認定
議第100号 ~103号	財産の取得について(市内小・中学校の児童・生徒用タブレット端末の購入に係る物件供給契約の締結について、議会の議決を求めるもの)	総務政策	原案可決
議第104号	令和2年度天草市一般会計補正予算(第10号)	付託省略	原案可決
請願第1号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書の提出を求める請願書	教育厚生	不採択
請願第2号	「被爆75年・天草市非核平和都市宣言決議」と日本政府への意見書提出について(請願)	総務政策	不採択

賛否表

- 議第87号 令和元年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議第88号 令和元年度天草市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議第90号 令和元年度天草市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 請願第1号 国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書の提出を求める請願書
- 請願第2号 「被爆75年・天草市非核平和都市宣言決議」と日本政府への意見書提出について(請願)



議員名	新風天草			天政会			市民クラブ			政友会			日本共産党		公明党		無会派		表決数	結果									
	中尾友二	田中茂	古賀源一郎	濱洲大心	前田正之	門口徹	中村三千人	脇島義純	池田裕之	勝木幸生	鶴戸継啓	大塚基生	益田政昭	下田昇一郎	五嶋善彦	澤井一富	平山泰司	船辺修			柴田誠	蓮池良正	浜崎義昭	赤木武男	五通俊作	浜崎昭臣	若山敬介	宮下幸一郎	
議第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定	
議第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定
議第90号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	認定
請願第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	3:22	不採択	
請願第2号	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	5:20	不採択	

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。(○は賛成、×は反対) ※浜崎昭臣議員は議長職のため、表決には加わりません。

TOPIC 02

議第100号~103号財産の取得について
児童・生徒ひとり1台のタブレット端末を整備
児童・生徒用のタブレット端末の購入を決定



市内小・中学校(30校)の児童・生徒用として5,700台のタブレット端末などを購入するため、追加議案が提出され、原案どおり可決しました。

内容
小・中学校の児童生徒の情報活用能力育成および災害や感染症の発生による臨時休校などの緊急時において、すべての児童生徒の学びを保障できる環境を実現することを目的に購入する。
今年度中に配備し、令和3年度の使用開始を目指す。

質疑
問 入札を辞退した業者の理由は。
答 物品の調達および期限までの納入が困難、その他の業務が多忙などの理由で辞退された。

問 納期が守れなかった場合の罰則などは。
答 正当な理由がなく納入が遅れた場合は、指名停止処分や遅延料など規定に基づき対処する。

TOPIC 03

令和2年度一般会計補正予算(第10号)
7月豪雨による被災家屋の公費解体費用や災害復旧費を計上
令和2年7月豪雨により被災した家屋について、半壊以上の判定を受けた家屋も公費解体の対象に

2億3,886万1千円を追加し、総額649億6,336万1千円とする一般会計補正予算(第10号)が提出され、原案どおり可決しました。

内容
豪雨による被害が甚大であったため、生活環境上の支障の除去、二次災害の防止および被災者の生活再建支援を図り、被災地の迅速な復旧を図るための特例措置として、公費解体を実施(国補助1/2)。

問 自己負担額が発生するのか。
答 公費解体は市が委託して行うため個人負担はないが、家財等については、事前に運び出していたり、今後の災害等が発生した場合、その都度災害の状況に応じて検討したい。

質疑
問 対象となる家屋の数は。
答 今回は7月豪雨に伴う国庫補助の拡大であり、今後災害等が発生した場合、その都度災害の状況に応じて検討したい。

公費解体実施の流れ

- 令和2年7月豪雨により住家が被災
- 「半壊」以上のり災判定
- 所有者による公費解体の申請
- 市において住家等の解体を実施

廃屋及び空き家等対策事業 1,987万円

適切な管理がなされていない一定条件を満たした老朽危険空き家などの除去を促進し、市民の安全・安心と生活環境の保全、改善、防犯および火災等の誘発防止を目的に、生活環境の保全を図る。

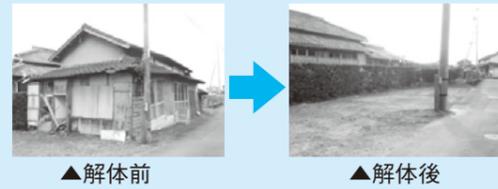
質疑

問 空き家が増えている状況の中で、今後の計画は。

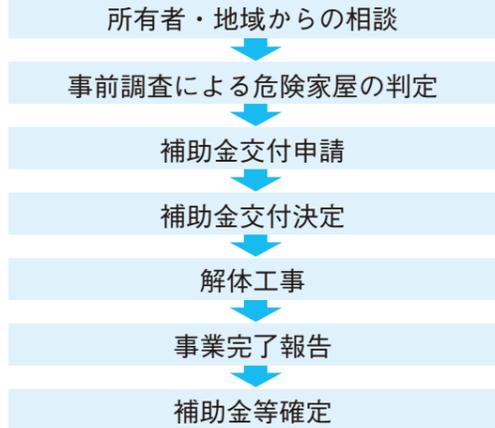
答 老朽空き家などの管理不全解消として所有者に適正管理依頼通知を送付し、解体費用の一部を補助するなどの対策を行っている。

今年度の国勢調査の資料を基に空き家調査を実施し、アンケート調査を行うなど関係部署と連携をしながら今後の対策強化に努める。

老朽危険家屋等除去促進事業補助金を利用した解体



老朽危険家屋等促進事業補助金による 空き家解体手続きの流れ



問 空き家の所有者は市外の方が多いため、相続関係者でない地元住民も申請できるのか。

答 空き家は個人の財産であるため、所有者や相続人の委任状があれば、地域の方でも申請をすることができる。

地域ICT利活用事業 591万円

天草Webの駅の安定運用により、市民サービス向上およびネットショッピングの販路拡大を図る。

質疑

問 新しい情報発信の方法は。

答 平成20年度に開設しているが、改修を重ねて運用。ネットショッピングサイトは、手数料を無料にし、差別化を図っている。また、令和元年度には天草市公式LINEを開設し、安心安全メールと連携し情報発信を行っている。

意見 市のホームページを活用するなど、少ない費用で、最大の効果が期待する。



▲天草市LINE QRコード

ふるさと応援寄附金推進事業 3億7,202万円

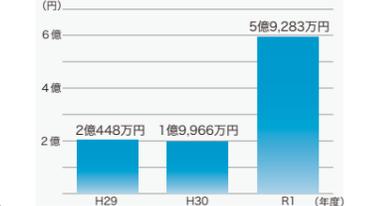
ふるさと納税制度を活用した寄附金で、市の重点的な事業の財源の確保や地域の振興を図り、寄附者へのお礼品に市内特産品を贈呈するなど、特産品をPRし地場産業の活性化を図る。

質疑

問 寄附額の目標を7億円より上げないのか。

答 寄附が集まる12月に向けて、事業者と勉強会などを開催する。魅力あるお礼品を作り、寄附額を伸ばしていきたい。

ふるさと応援寄附金 寄附額の推移 (令和2年3月末時点)



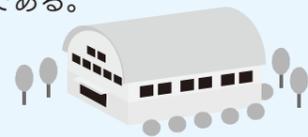
市有財産施設整備事業 3,103万円

老朽化した施設、利活用計画のない施設については、解体し、土地の有効活用と周辺住民の安全性を図る。

質疑

問 公共施設等再配置個別施設計画の進捗状況について。

答 同計画の第1期計画として、令和4年度までに全施設の評価・施設台帳・保全計画などを作成する予定。令和元年度に288施設、本年度は640施設を現地調査し、保全計画を策定する。その後、市全体の施設の再配置計画を令和3年度までに作成する予定である。



令和元年度一般会計歳入歳出決算などを認定

決算審査を予算編成に反映を!!

予算決算委員会では9月14日、15日、16日、17日に令和元年度一般会計および特別・企業会計歳入歳出決算の審査を行い、認定すべきものと決定しました。

なお、決算の詳細については、市政だよりあまくさ11月号に掲載されていますので、本紙では審査の際の質疑の内容などをお知らせします。

令和元年度一般会計

歳入 606億229万7,805円

歳出 589億9,449万7,399円

(歳入、歳出には基金の取り崩し金26億5,542万4千円および積立金19億4,538万8千円を含む。)

監査委員の意見の一部をご紹介します

市の財政については、地方交付税の段階的な削減や投資的経費である普通建設事業費の増加などに加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う中小事業者への市独自の緊急経済対策や、自然災害に対する災害復旧など突発的な経費も発生している。財政状況はより一層困難になると予想されることから、このような中でも、市民の福祉の増進に資することを常に考え、関連部署間の連携を図りながら、職員一人一人が経済的視点に立ち、効率的で効果的な事業に取り組むことで、熟度の高い行政経営に努められたい。

決算審査における 議会の意見



今回の委員会では、執行部に対して、さまざまな意見や改善をお願いいたしました。内容としては、当初予算に反映できるか検討を要するもの、業務として改善すべきものなど多岐にわたっております。また、特に重要と思われる事業については、意見や要望を取りまとめました。

執行部におかれましては、今回の意見や要望などを十分踏まえた上で、予算要求や予算執行を行っていただきたいと思います。

議員間討議を実施

委員会では、採決の前に議会基本条例第13条で定める「議員間の自由討議」を実施しました。

自由討議は、会派間等での協議を経てから行い、「成果が上がっている事業は継続すべき」、「複数の目的を有する施設の管理運営について」、「成果報告書への記載内容について」などの意見が出され、さまざまな協議をいたしました。

令和2年 第5回臨時会

令和2年第5回臨時会を8月7日に開催し、提出された専決処分事項の承認や補正予算など5件の議案を、原案どおり可決、承認しました。

令和2年第5回臨時会議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第10号	専決処分事項の報告について（公用車の交通事故に係る和解および損害賠償の額を定めるもの）	—	—
報告第11号	専決処分事項の報告について（公用車の交通事故に係る和解および損害賠償の額を定めるもの）	—	—
議第80号	専決処分事項の承認について（令和2年度天草市一般会計補正予算第7号）（7月3日からの豪雨に伴う災害復旧費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの）	付託省略	承認
議第81号	工事請負契約の締結について（（都）今釜本渡港線橋梁（P2・P3橋脚）工事に係る請負契約の締結について、議会の議決を求めるもの）	付託省略	原案可決
議第82号	令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）	付託省略	原案可決

7月豪雨災害復旧費や新型コロナウイルス感染症に関する補正の主な内容

【議第80号】専決処分事項の承認について（令和2年度天草市一般会計補正予算第7号）

6億8,923万8千円を追加し、627億6,008万4千円に

7月3日からの豪雨に伴う災害見舞給付金、被災住宅応急修理事業などを増額。

【議第82号】令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）

8億634万8千円を追加し、635億6,643万2千円に

観光客誘客促進事業 5,752万円を増額

観光客の誘客を促進することで落ち込んだ観光関連産業を中心とした地域経済の活性化を図る。

質疑

問 現在、すでに行っているキャンペーンの状況と今回の補正の内訳は。今回構築する車両ナンバー解析システム事業の活用方法は。

答 本年6月からの「魅力再発見キャンペーン」、7月10日からの「天草満喫キャンペーン」は好調に推移しており、今回の補正は、「天草満喫キャンペーン」の増額や当初予定していた冬のキャンペーンとして活用。また、今回新たに車両ナンバー解析用のカメラを道の駅などに設置、車両の動向を調査し、今後の観光施策に活用したい。

中小企業・小規模事業者緊急支援事業 1億円を増額

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げなどが減少している中小企業および個人事業者が行う3密を避けるための環境整備を支援する。

質疑

問 対象となる物品・機器など、どのような物が対象か。既に整備された方も対象となるのか。

答 対象となるのは、仕切り用のアクリル板やウイルス対策機能付空気清浄機、パーテーション、換気機能付エアコンなど。なお、緊急事態宣言が発令された本年4月7日以降に設置された事業者も対象となる。

補助額等：対象経費の8/10を補助
1施設当たり50万円を上限
(複数施設の場合は100万円を上限)
◀QRコードで制度の詳細が確認できます。



賛否表

議第82号 令和2年度天草市一般会計補正予算（第8号）

議員名	新風天草			天政会			市民クラブ			政友会		日本共産	公明党	無会派		表決数	結果											
	中尾友二	田中茂	古賀源一郎	濱洲大心	前田正之	門口徹	中村三千人	脇島義純	池田裕之	勝木幸生	鶴戸継啓	大塚基生	益田政昭	下田昇一郎	五嶋善彦			澤井一富	平山泰司	船辺修	柴田良正	蓮池義昭	赤木武男	五通俊作	浜崎昭臣	若山敬介	宮下幸一郎	
議第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23:2	原案可決

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。（○は賛成、×は反対） ※浜崎昭臣議員は議長職のため、表決には加わりません。

生活困窮者自立支援事業 3,449万円

生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給、その他の支援を行う。

質疑

問 支援を行う中で自立される方と生活保護に移行される方の数は。

答 令和元年度は、相談受付件数が242件あり、プラン終結数33件のうち、生活保護移行件数は6件。本事業の効果もあり、生活保護受給者も平成30年度から減少に転じている。



納税組合事務費 308万円



市税の容易かつ確実な納付により収納率の向上を図る。

質疑

問 納税組合の段階的な縮小の考えについて。

答 プライバシーの問題や、組合長のなり手不足の点から制度の廃止を検討すべき時期にきている。令和2年度中に、組合長に対し本市の計画を伝えた上で、ご意見をいただきながら、事業の廃止に向けて準備をしていく。

令和元年度国民健康保険特別会計 特定健康診査等事業費 8,694万円

特定健康診査を行い、生活習慣を改善するための特定保健指導を行う。

質疑

問 特定健康診査未受診者への勧奨や、かかりつけ医での検査などを、特定健診扱いとするよう医療機関に協力依頼をすべきでは。

答 受診率向上対策として、40歳到達者の受診費無料化、電話による受診勧奨や通知を行い、受診率が上昇した。

個別受診として、かかりつけ医で受診できるよう各医療機関へもご協力をお願いしている。

観光施設整備事業 5,940万円

観光拠点施設やトイレの整備により、天草観光の周遊性を高め、利便性の向上や施設機能の保全を図る。

質疑

問 観光施設の全体的な見直しやあり方、今後の計画について。

答 観光施設は、合併前に整備された施設が多く、老朽化が進み、維持管理に多額の費用を要している。市の観光アクションプランに沿って整備や改修を行っているが、今後もスクラップアンドビルドの観点から、機能統合や廃止など、施設のあり方について検討していく。

地域おこし協力隊 活動推進事業 3,845万円

人口減少、少子・高齢化が進む中、地域おこし協力隊の制度を活用して「地域協力活動」を通じた地域の活力の維持および強化を図る。

質疑

問 満期を迎えた隊員の今後の就業予定や定住および市民への活動状況の周知について。

答 本年9月に任期を終えた隊員は、柑橘農家として夫婦で本市に定住されている。ほかの隊員も起業や市内企業への就職など、今後も本市に定住の予定。活動状況は広報紙やみっばちラジオで周知している。



廃食用油変換装置 管理事業 112万円

環境都市としての本市のイメージアップと市民の環境意識向上を図る。

質疑

問 本渡地区以外の給食センターや家庭用の廃食用油の回収拡大はしないのか。

答 本事業は本渡地区清掃センター内にて、バイオディーゼル燃料を精製。本渡地区以外の清掃センターで収集した廃食用油は石炭の代用燃料として売却している。この装置は平成14年度に使用を開始し、老朽化も進んでいるため、拡大予定はない。



一般質問

2 中尾友一(新風天章)



●「土のう」に代わる「水のう」について
●来年度の予算編成における経済対策について

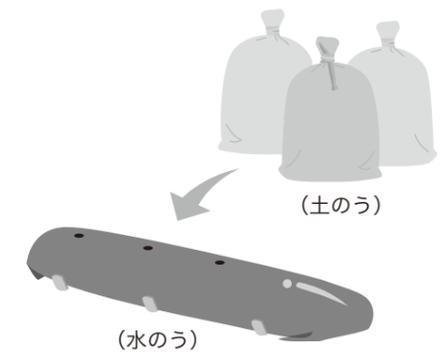


中尾 消防団へ情報を提供し、検討を進めるべきではないか。これまでに被災を受けた地域から試験的に導入するなど自ら検証を進めることはできないか。

市長 先に配備されている「あさぎり町」に確認したところ、都市型浸水に適しており平坦な地形など限定された場所でないこと設置は適していないとのこと。本市として、まず、消防団と協議をし、いくつかの方面隊に配備し設置訓練等において検証し、有効性が認められた場合は整備を行う。

中尾 来年度の予算編成において、新型コロナウイルス感染症の先行きが見えない中、経済対策に重点を置いた取り組みは。

市長 これまでの「強力な経済対策」による事業者への継続した支援は続けていくこととし、施設整備等投資的経費についても平準化を図りながら年次別に整備計画を立て、経済の振興を図っていき



いと考えている。新型コロナウイルス感染症の終息が見えないところであるが、臨時的なものについては今後も必要に応じて適宜予算を編成し、市民の暮らしを守っていききたい。

また、一方では、事業者をはじめ市民の皆さんの知恵とアイデア、行動力にも期待をしているところであり、「官民一体・一致団結」して、コロナ禍の難局を克服していききたいと考えている。

3 鶴戸継啓(天政会)



●文化施設の現状及び地域別の課題について
●体育館施設の維持管理及び今後の計画について
●天草市内の雨量計測器、風速計の測定器について



鶴戸 倉岳歴史民俗資料館は、現在休館であるが収蔵品や建物の計画は。

観光文化部長 実施計画の策定に取り組んでおり、建物は文化課では活用できない場合、庁内にある検討委員会で検討し、判断していくことになると考えている。

鶴戸 武道館整備について建て替えや改修の計画、空調設備の計画はないのか。

観光文化部長 今年度、外壁の全面改修工事を行うこととしており。空調設備を備えた市民センター体育館が隣接しているので、必要に応じてご利用をいただきたい。



▲現在休館中の倉岳歴史民俗資料館

鶴戸 夏場のイベント開催や災害時の体育館避難所も考えられるが、空調設備の計画は。

地域振興部長 施設の整理・統廃合やイベントの集約化なども進んでいくことが想定される中、拠点となる施設を絞り込み、そこに必要な設備を整備していくという方向性で検討していきたい。

鶴戸 風速計が備えていない地域は、なぜ設置していないのか。
総務部長 雨量計および風速計については、熊本県と気象台が設置しており、その観測情報を基に、市全体として対策を行っている。

4 浜崎義昭(日本共産党)



●自然災害と今後の防災対策について
●天草の基幹産業・漁業活性化
●コロナ禍の中で国保税を払えない人たちの救済について



浜崎 豪雨や台風など、今後の災害対策は。

また災害時には、社会福祉協議会が中心となり、災害ボランティアセンターを運営されるが、行政としてのどのように関わるか。

総務部長 今後の防災対策として、ハード・ソフト面の事業について、災害時の被害リスクを洗い出し、被害を避ける、最小限に抑えるための対応に取り組む。

健康福祉部長 災害ボランティア活動については、今後も協定に基づき、社協と連携して被災者支援に取り組んでいく。

浜崎 猛暑の中の水揚げは、水産業者が、鮮度を保つためにあらゆる工夫をし、漁港まで運んでいるが、水揚げと同時に、鮮度が下がって行く状況。鮮度を保持するための施設整備は、可能かどうか伺う。

経済部長 「水産流通基盤整備事業」により既存施設に併設して、衛生管理型施設などの施設整備が



可能である。

浜崎 国保世帯は、自営業、農業、漁業がほとんどで、日々の生活を切り詰め、どうにか生活をしている状態。対象者にコロナに関連する減免制度の周知は、できているか。

国保年金課長 国保世帯への周知の結果、6月だけで約250件の問い合わせがあつている。

8月末現在、国民健康保険加入世帯1万3,760世帯のうち、減免件数が138件、減免額は、1,811万7,200円となっている。

5 澤井一富(市民クラブ)



●天草市の家庭教育支援について



澤井 児童生徒の携帯、スマホ等の所有状況は。また、1日の使用時間は。

教育部長 アンケート調査では、インターネットに接続可能な携帯端末を所持している児童生徒は、小学生が70・1%、中学生で90%以上。また、2時間以上利用している小学生は21・8%、中学生は29・2%で、学年が上がるにつれ、利用時間も増えている。

澤井 近年、ゲーム依存が社会問題化されており、ゲーム障害の診断名で多くの子どもたちが入院治療を受けている。本市はどのような指導をされているか。

教育部長 家庭でのルール作りが第一と考える。学校においても情報モラルに関する授業も行われ、ルール作りやフィルタリングの利用促進に努めるなど、家庭が連携し、健やかな育ちを見守る体制づくりを行う必要があると考える。



近年は不登校からそのまま長期のひきこもり状態になる傾向が多い。幼少期からの家庭教育支援を本市でもできないか。

教育部長 今後は、年齢が早い段階から家庭教育支援が必要であると考え、さまざまな場での参加者のニーズに合った講座を提供し、学びにつなげるよう取り組みたい。

また、保健福祉センター、子育て世代包括支援センター、子育て支援課などと連携した学びの場の提供を行いたい。

QRコードで質問の動画が見られます。

QRコードで質問の動画が見られます。

一般質問

6 赤木 武男(公明党)



- 単独浄化槽から合併浄化槽への転換を
- 小中学校への携帯電話持ち込みについて
- 学校に貸し出し傘(置き傘)の配備を



赤木 単独槽から合併槽への転換の現状と、転換が進まない要因について伺う。

水道局長 平成27年度から令和元年度までに、42基が合併槽に転換。5人槽では約50万円を補助しているが、進まない。住宅リフォーム制度との連携も図りたい。

赤木 単独浄化槽の転換に伴う自宅内配管工事費の軽減策として、新たな補助金の拡充は。

水道局長 転換促進の阻害要因に宅内配管工事費の負担があるため、補助金交付要領を改正し、来年度から新たに上限を30万円とする補助を行う。

赤木 文部科学省は、登下校中の児童生徒の安全面で有効であり、安心につながるとし、7月の通知で携帯の持ち込みを例外的に認めたとが、教育委員会の認識は。

教育部長 学校と生徒、保護者との間でフィルタリングなどに合意し、必要な環境整備等が講じられ

る場合に認めるなど国・県の方針を踏まえ、基本方針を策定する。

赤木 小学生が傘もささず、びしょ濡れで下校していた。子どもの健康や安全を考えると、貸し出し傘の配備はぜひ必要と考えるが。

教育部長 下校時の急な降雨の対応は、学校メールなどで各家庭と連絡を図り、子どもたちの安心・安全を第一に対応する。

赤木 若い子育て世帯は共働きの家庭が多く急な連絡には対応できない場合がある。家庭や民間事業所などにも協力をいただき、貸し出し用の傘を確保すべき。



7 益田 政昭(市民クラブ)



- 7月豪雨における災害状況、要因、復旧状況、今後の対応について
- コロナ禍における商品券事業について



益田 熊本豪雨は災害指定を受けたのか。

防災危機管理課長 7月には特定非常災害に、8月には激甚災害へ指定された。

財政課長 復旧の特定財源については、国庫補助と災害復旧事業債を予定している。

益田 家屋被害の状況は。

防災危機管理課長 半壊88棟、一部損壊83棟、床上浸水144棟、床下は287棟。

益田 被災者の支援策は。

健康福祉部長 国の被災者支援制度の改正を受け、対応する。本市は市税の一部、「国保税」「介護保険料」等の減免や災害見舞金、災害義援金で支援する。

産業政策課長 「なりわい再建補助金」で対象経費4分の3を補助、コロナの影響を受けた事業者には、利子補給など支援する。

益田 ボランティアの活動が目立ったが、社協と若者の連携はと



▲魚貫町の陥没した道路

れたか。

健康福祉部長 社協は136世帯を支援し、延べ663名のボランティアに協力をいただいた。

本市も毛布、タオル、シートなど、支援を行った。

益田 コロナ禍は今後も続くことが予想されるため、地元事業所を支援する商品券事業を継続すべき。

市長 事業の成果等について検討し、来年度の実施を判断する。

8 蓮池 良正(日本共産党)



●コミュニティ行政について



蓮池 高齢化の進行する天草市地域では、オンデマンド的な交通ルール整備が求められていないか、以前から申し上げてきた。

本市も交通安全の観点から、高齢の方々の運転免許証の返納を推奨している。報道される交通事故の分類でも、逆走や交通ルール違反が、高齢に伴い増加する傾向にあり、ご高齢のドライバーを含む家族会議等でも喫緊の課題となってきた。

市内各地域には運転免許証を所有した方が一定数おられ、利便性の構築に有効な方向性をもつ。

どこかの地域で実証実験的な運行を始め、近い将来、全域的な運行ができれば、路線バスが減少する不便な状況を補えるのではないかと。ワンコイン程度の利用料金で、利用者には、負担軽減となるとともに、運転者には、少額ながら最低賃金程度の補償がされるものと期待される。



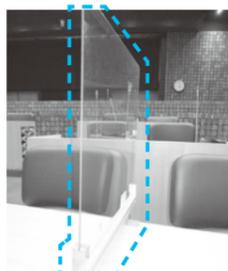
地域振興部長 地域住民が主体となった交通サービスは、キーマンの存在や運転手の確保、予約や相乗りの運用システム構築、相乗りの交通事故のリスク管理など、解決すべき課題がある。そのような課題が解決され、地域内の合意形成ができれば、まずは実証実験から始めるなどして、実施に向けて支援していきたい。

市議会のコロナ対策

コロナ禍



▲議場での予算決算委員会審議の様子



▲飛沫対策の
間仕切りパネル



▲議場入口に設置の
消毒液

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、天草市議会では、議員各自が健康管理と感染予防対策を徹底するとともに、議場などでも予防対策をとっています。今回は、第6回定例会の予算決算委員会のような様子をご紹介します。

通常、第1委員会室で開催する本委員会ですが、密を避けるため、委員会室の倍以上の広さがある議場に変更しました。また、議場内の議員席と執行部席には飛沫対策として、間仕切りパネルを設置しています。

このほかに、本会議や常任委員会などに出席の際は健康観察を行い、各会議室等の入室の際は、手指消毒も徹底しています。

第6回定例会においても、本会議の傍聴自粛にご協力いただき、ありがとうございました。



シリーズ

追跡指令

気になる！一般質問のその後！！

今回の指令

地域おこし協力隊のその後を追跡せよ！！

平成29年度からスタートした地域おこし協力隊。活動期間は最長3年で、「地域協力活動」を通じ、地域の活力の維持および強化を図っている。地域おこし協力隊の活躍のようすはどのようなものがあるのか、また、活動期間終了後の定住につながっているのか。

今回は、「地域おこし協力隊」のその後を追跡し、報告せよ！！



地域おこし協力隊に関する追跡調査報告書

令和2年4月1日現在の隊員数は11名。隊員の皆さんは、産業政策課をはじめ、まちづくり支援課、観光振興課、各支所にて活動されています。

平成29年11月に着任された山田恭史隊員は、51の地区振興会を対象に情報発信の支援やサポート、天草地域のコミュニティに関する情報サイト「Amakusa ググる」を新たに開設されました。このサイトでは、天草地域のイベント、風景、特産品などの情報を発信しており、8月末現在、アクセスは100万件にのぼっています。また、各地域のイベントなどに参加し、地域の魅力、課題、資源の活用などのアドバイスを行ってこられました。



▲バイヤーさんへ商品説明をする山田隊員(右手前)

平成30年5月に着任された北野達栄隊員は、新和町において繁茂する竹を一つの地域資源と捉え、竹細工や竹灯籠を通じたまちづくりを、地元の方と一体となり取り組んでおられます。さらに、新和はまぼう祭りに、ハーバリウム制作体験を企画したり、碓石地区における土着菌堆肥の新たなパッケージ制作による販売促進など、地域と密着した活動を行っておられます。

ほかの隊員も、地域の祭りの復活、フットパスや写真展の開催など、新たな地域資源の開拓に力を注いでおられます。

また、隊員の多くは、任期を終えた後も市内での就職や起業を希望しておられ、「天草に定住し、地域とつながりをもっていきたい」とのことでした。

▼土着菌堆肥の新パッケージ

▼Amakusa
ググる
QRコード



熊本県天草市新和町にある堆肥工場で国産の原料のみを使用し製造しています
原料 牛糞・土着菌・油粕・粉炭・木酢液 (PH6.8 N2.0 P3.07 K2.04)
生産者 碓石地区振興会 第H21-12号

編集後記

あえて環境を変化させて、自身の技術を磨きその執念で五輪復活劇をとげた、卓球の水谷選手は次のように述べています。

「同じことをやっていけばいいと思った時点で、それは退化していることと同じ」、「長くトップを維持するということは、時代の変化に適応していくということ」

周囲の評価や環境の変化を理由に、「自分はもうダメだ」と諦めるのは簡単ですが、成長はそこで止まります。どんなときも、自身の可能性を信じて挑戦を貫けば、必ず新しい自分が見つかります。コロナ禍が社会を変化させつつある中で、それに適応するには大変な努力を要しますが、だからこそ、自分らしく、粘り強く前進を続けたいものです。

(五通俊作)

広報広聴委員会



鶴戸 継啓



副委員長
五通 俊作



委員長
蓮池 良正



門口 徹



柴田 誠



下田 昇一郎